

# 分析システム 体験学習編

2015年11月25日 午前

ORION

Username:

&lt;Type your User Id&gt;

Password:

ログイン &gt;

### <カリキュラムの目的>

メトリック【集計値】とフィルタ機能【絞込み】を利用し、仮説・検証型の分析を実施してみましょう。

- ・傷病者情報より、搬送連絡回数別の件数を集計する。
- ・メトリック【集計値】を利用し件数だけでは無く比率や順位等を加え比較し易くする。(サンプリングの場合は比率が有効)
- ・EXCELファイルやパワーポイントファイルに出力し2次加工が可能であることを確認する。
- ・グラフを表示させて見やすく確認する。
- ・フィルタ機能【絞込み】を利用し、仮説を立てEXCELファイルに出力し比較し分析してみる。

例1) 緊急度「高」であった場合、比率が良くなるか。 (緊急度による比較)

例2) “2014年12月”と“14年11月”とで比較してみる。 (時間軸による比較)

例3) 入院時転帰 = “入院”で比較してみる。 (重症患者比較)

例4) 初診時転帰 = “外来のみ”で比較してみる。 (軽傷患者比較)

# 帳票仕様書1:「医療圏ごと連絡回数分布」を作成しましょう。

## 1) 帳票レイアウト仕様書

フィルター一覧 閉 ×

プロンプト

発生年 等しい(=)

発生月(一致条件用) 等しい(=)

救急隊判断緊急度 等しい(=)

第2因子:緊急度一覧を含む

[アイテム追加](#)

初診時:転帰 等しい(=)

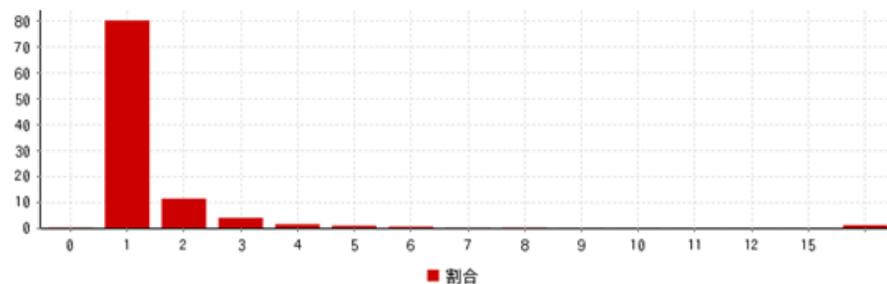
入院時:入院(転帰) 等しい(=)

>

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	件数	割合
0	5	0.1%
1	2,942	80.4%
2	415	11.3%
3	142	3.9%
4	52	1.4%
5	31	0.8%
6	18	0.5%
7	4	0.1%
8	5	0.1%
9	2	0.1%
10	2	0.1%
11	1	0.0%
12	1	0.0%
15	1	0.0%
	38	1.0%

sample圏域ごとの連絡回数分布(2015.06.10)

【カラム】  
搬送連絡の回数  
【条件】  
2次医療圏



# 帳票仕様書1:「医療圏ごと連絡回数分布」を作成しましょう。

## 2) 項目仕様書

### a. データソース設定

「傷病者情報」を選択

### b. レポートの表示項目(カラム【列】、ロウ【行】)に関する設定

No	列or行	データフィールド	項目名	編集内容
1	列	傷病6	搬送機関：選定：決定までの連絡回数	-
2	列	出場情報	消防本部コード【結合キー1】	個数による集約
3	列	出場情報	消防本部コード【結合キー1】	合計値に対する百分率(%)
4				
5				
6				
7				

c.フィルターに関する設定

No	データフィールド	項目名	演算子	編集内容	初期値
1	出場情報	発生年	等しい(=)	-	2014
2	出場情報	発生月 (一致条件用)	等しい(=)	-	-
3	傷病者情報 6	救急隊判断緊急度	等しい(=)	-	高
4	大阪府	第2因子: 緊急度	一覧に含む	-	-
5	病院後情報	初診時: 転帰	等しい(=)	-	-
6	病院後情報	入院時: 入院 (転帰)	等しい(=)	-	-
7					

# ①レポート作成手順

**(1) レポートに表示したい項目の設定**

**(2) 各項目の表示設定**

**(3) フィルター設定**

**(4) レポートの保存**

# ①課題1:レポートの新規作成

## 1).レポートの作成

# ORION

The screenshot shows the ORION web application interface. At the top, there is a navigation bar with buttons for 'ダッシュボード' (Dashboard), '作成' (Create), '閲覧' (View), and 'ログアウト' (Logout). The '作成' button is highlighted with a red box. Below this, a dropdown menu is open, showing options: '+ 作成', 'レポート' (Report), and 'ダッシュボードタブ' (Dashboard Tab). The 'レポート' option is also highlighted with a red box. A red arrow points from the 'レポート' option to a text box below. The main content area displays a table with columns for '救急活動票(時間)', '救急活動票(事故種別)', '救急活動票(受入実態)', '救急活動票(その他)', and 'ウツタイン'. Below this, there is a table with columns for '出場件数(累計)', '搬送件数(月計)', and '搬送件数(累計)'. The data row shows values: 568, 568, 174, 174.

救急活動票(時間)	救急活動票(事故種別)	救急活動票(受入実態)	救急活動票(その他)	ウツタイン

出場件数(累計)	搬送件数(月計)	搬送件数(累計)	搬
568	174	174	

「作成」 -> 「レポート」をクリックする。

# ①課題1:レポートの新規作成

## 2).分析対象の情報を選択

### 新規レポート作成

レポートの作成方法: ドラッグ&ドロップで作成 

利用可能なビューからデータソースを選択

検索	名前	レポート数	最近の使用	ソース	デフォルト
ビューを検索 <input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 傷病者情報		最近の	ORION INPUT SYSTEM	<input type="radio"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 搬送連絡結果情報		5日	ORION INPUT SYSTEM	<input type="radio"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 出場情報		古い		
	<input checked="" type="checkbox"/> ウツタイン情報		古い		

「新規レポート作成」画面で、レポートのデータソースとして「**傷病者情報**」を選択する。

データセットがここにはない場合は **新しいデータセット** をリクエストしてください。 [リクエスト](#) [キャンセル](#)

# ①課題1:レポートの新規作成

## 3).「レポート作成」画面の表示

1. 「新規レポート作成」画面が表示される。

2. 画面左側には、傷病者情報がカテゴリごとに表示される。

データが選択されていないようです。フィールド一覧から、コラム(列)、로우(行)、フィルターまたは、このキャンバスにフィールドをドラッグ & ドロップします。

レポート更新



# ①課題1:レポートの新規作成

## 5).項目（搬送機関：選定：決定までの連絡回数）の選択

The screenshot shows a software interface for creating reports. On the left, a sidebar lists various report sections under '傷病者情報'. One item, '搬送機関：選定：決定までの...', is highlighted with a red box. A red dashed arrow points from this item to a 'カラム(列)' (Column) header in the main workspace, which also has a red box around it. A red callout box contains the instruction: 「搬送機関：選定：決定までの連絡回数」を「カラム(列)」ヘドラッグ&ドロップする。 (Drag & drop '搬送機関：選定：決定までの連絡回数' to 'カラム(列)').

On the right, a yellow callout box provides additional information: 【補足】 項目の検索バーにキーワードを入力し、検索アイコンをクリックすると、項目を絞り込むことができる。 (【補足】 Enter the keyword in the item search bar, click the search icon, and you can narrow down the items.)

A yellow-bordered inset at the bottom right shows a zoomed-in view of the search bar. The search bar contains the text '決定までの連絡回数' and has a search icon to its right. Below the search bar, the selected item '搬送機関：選定：決定までの連...' is visible in the list.

## ①課題1:レポートの新規作成

## 5).項目（搬送機関：選定：決定までの連絡回数）の表示確認

The screenshot shows a report configuration interface for '傷病者情報' (Patient Information). The left sidebar lists various report items, with '搬送機関：選定：決定までの連絡回数' (Number of contacts until decision on transport organization) selected. The main area shows the configuration for this item, including a dropdown menu for '搬送機関：選定：決定までの連絡回数' and a list of row numbers (0-31). A red box highlights the dropdown menu and the list of row numbers. A callout box on the right states: '画面右側のキャンバスに、選択した項目(搬送機関決定までの連絡回数)が表示される。' (The selected item (Number of contacts until decision on transport organization) will be displayed in the canvas on the right side of the screen.)

# ①課題1:レポートの新規作成

## 6).集計項目(合計)の選択

1. 「出場情報」->「消防本部コード【結合キー1】」を「カラム(列)」ヘドラッグ&ドロップする。

2. 項目にカーソルを乗せると▼が表示されるのでクリックする。

3. 開いたサブメニューから「集約」にカーソルを乗せ、さらに展開したメニューから「# 個数」をクリックする。

The screenshot shows a software interface for creating reports. On the left, a tree view contains various data fields, with '消防本部コード【結合キー1】' (Fire Department Code [Combination Key 1]) highlighted in a red box. A red dashed arrow points from this field to the 'カラム(列)' (Columns) header in the main table area. In the table area, a dropdown menu is open for the selected column, showing options like '何もない(None)', '# 個数' (Count), and '#! Count Distinct'. The '# 個数' option is highlighted in a red box. Another red dashed arrow points from a text box above to the dropdown arrow. A third red dashed arrow points from a text box below to the '# 個数' option. Below the table area, there is a message: '検索エラーです データベースの検索中にエラーが発生しました。' (Search error: An error occurred during database search).

### 【補足】

件数をカウントするので、必ず値が入力されている「消防本部コード【結合キー1】」でカウントする

## 7).集計項目(合計)の表示確認

The screenshot shows a report builder interface for '傷病者情報' (Injury Patient Information). The table displays data grouped by '搬送機関:選定:決定までの連絡回数' (Transfer Agency: Selected: Number of contacts until decision). The 'Count' column shows the number of records for each group.

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	Count
0	863
1	50,165
2	11,003
3	4,432
4	2,635
5	1,504
6	515
7	332
8	227
9	182
10	170
11	144
12	107
13	66
14	49
15	37
16	49
17	29
18	32
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	5
28	3
29	2
30	1

画面右側のキャンバスに、連絡回数ごとの小計が表示される。



## ①課題1:レポートの新規作成

## 9).集計項目(割合)の表示確認

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

傷病者情報1  
傷病者情報2  
傷病者情報3  
傷病者情報4  
傷病者情報5  
傷病者情報6  
傷病者情報7  
傷病者情報8  
出場情報  
消防本部コード【結合キー1】  
出場No【結合キー2】  
2次医療圏名  
消防本部名  
救急隊名  
地域名(市町村)  
地域名(区)  
不搬送理由  
発生日  
発生年度  
発生年  
発生月(ドリルダウン用)  
発生曜日(ドリルダウン用)  
発生日(ドリルダウン用)  
上期下期  
発生月(一致条件用)  
発生月

セクション  
ここにセクションフィールドをドラッグ

フィルター  
ここにフィルターフィールドをドラッグ

分析スタイル  
マルチ表示  
ドリルなし  
ドリルダウン  
ドリルエニューア  
ドリルスルー

レポートデータ  
データソース: ORION INPUT SY...  
ビュー: 傷病者情報

有効なロウ(行)数の制限: 10000  
重複レコードを表示:   
自動再読みこみ:  On  
プレビューのロウ(行)数制限:

カラム(列) ● 搬送機関:選定:決... # Count 消防本部コ... # Count 消防本部コ...

ロウ(行)

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	Count 消防本部コード【結合キー1】	Count 消防本部コード【結合キー1】
0	863	863
1	50,165	50,165
2	11,003	11,003
3	4,432	4,432
4	2,635	2,635
5	1,504	1,504
6	515	515
7	332	332
8	227	227
9	182	182
10	170	170
11	144	144
12	107	107
13	66	66
14	49	49
15	37	37
16	49	49
17	29	29
18	32	32
19	11	11
20	10	10
21	18	18
22	8	8
23	9	9
24	9	9
25	5	5
26	4	4
27	5	5
28	3	3
29	2	2

画面右側のキャンバスに、連絡回数ごとの小計が表示される。

44 Rows 1 Seconds レポート更新

## 10).集計項目(割合)の選択

1. ▼をクリックしてサブメニューを表示する。

The screenshot shows a reporting tool interface with a table of data. The table has columns for '搬送機関:選定:決定までの連絡回数' (Transportation Agency: Selection: Number of communications until decision) and 'Count 消防本部コード【結合キー1】' (Count Fire Department Code [Combination Key 1]). The table contains 44 rows of data. A dropdown menu is open over the second column header, showing options like '集約' (Aggregate), '並べかえ' (Sort), and '高度な関数' (Advanced Function), which is highlighted with a red box. A red arrow points to the dropdown arrow on the column header. A second red box highlights the '高度な関数' option in the menu.

2. 開いたサブメニューから「高度な関数」をクリックする

## ①課題1:レポートの新規作成

## 11).関数の選択

Advanced Metrics

高度な関数 データ変換

1. 「関数の選択:」->「分析」を選択します。

2. 「合計値に対する百分率 (%)」を選択する。

3. 「保存」をクリックする。

保存 キャンセル

消防本部コード【結合キー1】(テキスト(Text))

Σ # #! + % -

グラフにのみ表示  
Off

関数の選択:

分析  
テキスト  
分析  
統計

検索

初期値の百分率(%)  
合計のグループ化百分率(%)  
合計の百分率(%)フィルター  
合計値に対する百分率(%)

合計値に対する百分率(%)  
選択したフィールドの合計に対する比率を返します

【補足】  
項目の検索バーにキーワードを入力すると、項目を絞り込むことができる。

ステップ 0: 合計値に対する百分率(%) を使用し 数値(Numeric) へ変換

合計値  
合計値に対する百分率(%)

# ①課題1:レポートの新規作成

## 12).集計項目(割合)の表示確認

画面右側のキャンバスに、連絡回数ごとのデータ件数の割合が表示される。

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	Count 消防本部コード【結合キー1】	% 対 消防本部コード【結合キー1】(合計値)
0	863	1
1	50,165	69
2	11,003	15
3	4,432	6
4	2,635	4
5	1,504	2
6	515	1
7	332	0
8	227	0
9	182	0
10	170	0
11	144	0
12	107	0
13	66	0
14	49	0
15	37	0
16	49	0
17	29	0
18	32	0
19	11	0
20	10	0
21	18	0
22	8	0
23	9	0
24	9	0
25	5	0
26	4	0
27	5	0
28	3	0
29	2	0

## ①レポート作成手順

(1) ~~レポートに表示したい項目の設定~~

(2) 各項目の表示設定

(3) フィルター設定

(4) 分析スタイルの設定

# ①課題1:レポートの新規作成

## 13).項目の表示設定画面

1. 「コラム(列)の書式」アイコンをクリックして、「コラム(列)の書式」画面を表示する。

2. 「コラム(列)の書式」画面の左側には、レポート項目が表示される。

21	18 0
22	8 0
23	9 0
24	9 0
25	5 0
26	4 0
27	5 0
28	3 0
29	2 0

44 Rows 1 Seconds

レポート更新

## 14).項目の表示設定(合計)

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報 レポートフィールド

検索 カラム(列)

搬送機関:選定:決定まで...

**Count 消防本部コード【結...**

%対消防本部コード【結...

傷病者情報1

傷病者情報2

傷病者情報3

傷病者情報4

傷病者情報5

出場No【結合キー2】

2次医療圏名

消防本部名

救急隊名

地域名(市町村)

地域名(区)

不搬送理由

発生日

発生年度

発生年

発生月(ドリルダウン用)

発生曜日(ドリルダウン)

発生日(ドリルダウン用)

上期下期

発生月(一致条件用)

発生月

カラム(列)の書式 - Count 消防本部コード【結合キー1】

表示

表示 カラム(列)のタイトルを定義します。

書式 数値として値を表示します。 数値型

小数点以下桁数 表示する小数点以下桁数を定義します。

接頭文字 値の前に表示するテキストを定義します。

接尾文字 値の前に表示するテキストを定義します。

丸め(端数処理) フィールドに適用したい丸めを定義します。 四捨五入

千単位区切文字 数値の桁区切りを取り外します。  On

負数の括弧表示 括弧なしで負の値を表示します。 Off

フィールドを表示 表にカラム(列)を表示します。  On

重複表示の排除 表の重複する値を表示します。 Off

**1. 「Count消防本部コード【結合キー1】」をクリックする。**

**2. 「表示」欄に「合計」と入力する。**

# ①課題1:レポートの新規作成

## 15).項目の表示設定(割合)

The screenshot shows a software interface for configuring a report. On the left, a tree view lists various data fields. The main area is titled 'レポートフィールド' (Report Fields) and shows a configuration for a column named '%対消防本部コード【結合キー1】' (Percentage of Fire Department Code [Combination Key 1]). The configuration is divided into several sections: '表示' (Display), '書式' (Format), '接頭文字' (Prefix), '接尾文字' (Suffix), and '丸め(端数処理)' (Rounding). Each section has a text input field and a description. Red boxes and arrows highlight specific settings: the field name in the tree, the '表示' field set to '割合', the '小数点以下桁数' (Decimal places) set to '1', and the '接尾文字' (Suffix) set to '%'. A 'フィールドを表示' (Show field) checkbox is checked.

1. 「%対 消防本部コード【結合キー1】」をクリックする。

2. 「表示」欄に「割合」と入力する。

3. 「小数点以下桁数」欄に「1」と入力する。

4. 「接尾文字」欄に「%」と入力する。

## 16).項目の表示設定(割合)

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報 レポートフィールド

検索 カラム(列)

傷病者情報1 傷病者情報2 傷病者情報3 傷病者情報4

搬送機関:選定:決定まで...  
合計  
%対消防本部コード【結...

カラム(列)の書式 - %対消防本部コード【結合キー1】(合計値)

表示  
並べかえ  
データ

フロントスタイル  
カラム(列)にデフォルト書式を使用します。

デフォルト  カスタム

位置合わせ  
フィールドコンテンツの文字列位置を定義します。

背景  
カラム(列)のカスタム背景色を定義します。

カラム(列)幅  
カラム(列)の幅を定義します。

最大長  
セルに表示させる文字の最大数を定義します。

テキストの折返  
複数行にわたる長いセルのテキストを折り返します。

境界線  
サマリー

1. 「データ」→「位置合わせ」で ≡ (‘右寄せ’) を選択する。

2. 「×」をクリックして「カラム(列)の書式」画面を閉じる。

## 17). 表示設定の反映確認

The screenshot shows a report interface with a table of data. The table has three columns: '搬送機関:選定:決定までの連絡回数', '合計', and '割合'. The data rows are numbered 0 to 32. A red box highlights the table area, and a red arrow points from the table to a callout box containing the text 'キャンバスの表に表示設定が反映される。' (The table on the canvas reflects the display settings).

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	863	1.2%
1	50,165	69.1%
2	11,003	15.1%
3	4,432	6.1%
4	2,635	3.6%
5	1,504	2.1%
6	515	0.7%
7	332	0.5%
8	227	0.3%
9	182	0.3%
10	170	0.2%
11	144	0.2%
12	107	0.1%
13	66	0.1%
14	49	0.1%
15	37	0.1%
16	49	0.1%
17	29	0.0%
18	32	0.0%
19	11	0.0%
20	10	0.0%
21	18	0.0%
22	8	0.0%
23	9	0.0%
24	9	0.0%
25	5	0.0%
26	4	0.0%
27	5	0.0%
28	3	0.0%
29	2	0.0%
30	1	0.0%
32	1	0.0%

キャンバスの表に表示設定が反映される。

## ①レポート作成手順

- (1) レポートに表示したい項目の設定
- (2) 各項目の表示設定
- (3) フィルター設定
- (4) レポートの保存

## ①課題1:レポートの新規作成

## 18).フィルター項目の追加(発成年、発生月(一致条件用))

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

傷病者情報1  
傷病者情報2  
傷病者情報3  
傷病者情報4  
傷病者情報5  
傷病者情報6  
傷病者情報7  
傷病者情報8  
出場情報

消防本部コード【結合キー1】  
出場No【結合キー2】  
2次医療圏名  
消防本部名  
救急隊名  
地域名(市町村)  
地域名(区)  
不搬送理由  
発生日  
発生年度  
発生年  
発生月(ドリルダウン用)  
発生曜日(ドリルダウン用)  
発生日(ドリルダウン用)  
上期下期  
発生月(一致条件用)  
発生月

セクション

ここにセクションフィールドをドラッグ

フィルター

発生年  
発生月(一致条件用)

設定

分析スタイル

マルチ表示  
ドリルなし  
ドリルダウン

有効なロウ(行)数の制限: 10000

重複レコードを表示:

カラム(列)

搬送機関:選定:決... # 合計 # 割合

ロウ(行)

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	863	1.2%
1	50,165	69.1%
2	11,003	15.1%
3	4,432	6.1%
4	2,635	3.6%
5	1,504	2.1%
6	515	0.7%
7	332	0.5%
8	227	0.3%
9	182	0.3%
10	170	0.2%
11	144	0.2%
12	107	0.1%
13	66	0.1%

1. 「出場情報」->「発生年」を「フィルター」ヘドラッグ&ドロップする。

2. 「出場情報」->「発生月(一致条件用)」を「フィルター」ヘドラッグ&ドロップする。

44 Rows 1 Seconds

レポート更新

# ①課題1:レポートの新規作成

## 19).フィルター項目の追加(救急隊判断緊急度)

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

- 搬送機関:二次医療圏
- 搬送機関:機関種別
- 搬送機関:救命センタ区分
- 医療機関名
- リスト使用
- リスト番号
- プロトコルA(コード)
- プロトコルB(コード)
- プロトコルC(コード)
- プロトコルD(コード)
- プロトコルE(コード)
- プロトコルF(コード)
- 救急隊所見
- 隊員判断:重症度
- 隊員判断:外傷:生理学的
- 隊員判断:外傷:物理学的
- 隊員判断:外傷:高エネルギー
- 隊員判断:外傷:弱者:基礎...
- 救急隊判断緊急度**
- 初診医重症度判断
- 初診医緊急度判断

ここにセクションフィールドをドラッグ

フィルター

- 発生年
- 発生月(一致条件用)
- 救急隊判断緊急度

設定

分析スタイル

- マルチ表示
- ドリルなし
- ドリルダウン
- ドリルエニウェア

有効なロウ(行)数の制限: 10000

重複レコードを表示:

自動再読みこみ:  On

プレビューのロウ(行)数制限:

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	863	1.2%
1	50,165	69.1%
2	11,003	15.1%
3	4,432	6.1%
4	2,635	3.6%
5	1,504	2.1%
6	515	0.7%
7	332	0.5%
8	227	0.3%
9	182	0.3%
10	170	0.2%
11	144	0.2%
12	107	0.1%
13	66	0.1%
14	49	0.1%
15	37	0.1%
16	49	0.1%
23	9	0.0%
24	9	0.0%
25	5	0.0%
26	4	0.0%
27	5	0.0%
28	3	0.0%
29	2	0.0%
30	1	0.0%
32	1	0.0%

44 Rows 1 Seconds

レポート更新

**1. 「傷病者情報6」->「救急隊判断緊急度」を「フィルター」へドラッグ&ドロップする。**

## ①課題1:レポートの新規作成

## 20).フィルター項目の追加(第2因子:緊急度)

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

- 患者背景:過去に問題
- 患者背景:自殺企画
- 患者背景:施設利用者
- 患者背景:その他
- 患者背景:コメント
- 照会回数
- 受入不能理由件数:手術中...
- 受入不能理由件数:ベッド満床
- 受入不能理由件数:処置困難
- 受入不能理由件数:専門外
- 受入不能理由件数:医師不在
- 受入不能理由件数:初診(...)
- 受入不能理由件数:患者容態
- 受入不能理由件数:理由不...
- 第1因子:緊急度
- 第2因子:緊急度**
- 実施基準に従った
- 実施基準に従わなかった理由
- 選定理由:吐血・消化管...
- 選定理由:脳血管疾患
- 選定理由:循環器疾患
- 選定理由:四肢外傷
- 病院後情報
- 当番病院による受入
- 患者登録状態区分

病院後情報

セクション

ここにセクションフィールドをドラッグ

フィルター

- 発生年
- 発生月(一致条件用)
- 救急隊判断緊急度
- 第2因子:緊急度**

設定

分析スタイル

レポートデータ

データソース: ORION INPUT ...

ビュー: 傷病者情報

有効なロウ(行数)の制限: 10000

重複レコードを表示:

自動再読みこみ:  On

プレビューのロウ(行数)制限:

カラム(列) 搬送機関:選定:決... # 合計 # 割合

ロウ(行)

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	863	1.2%
1	50,165	69.1%
2	11,003	15.1%
3	4,432	6.1%
4	2,635	3.6%
5	1,504	2.1%
6	515	0.7%
7	332	0.5%
8	227	0.3%
9	182	0.3%
10	170	0.2%
11	144	0.2%
12	127	0.1%
13	117	0.1%
14	117	0.1%
15	117	0.1%
16	117	0.1%
17	117	0.1%
18	117	0.1%
19	11	0.0%
20	10	0.0%
21	18	0.0%
22	8	0.0%
23	9	0.0%
24	9	0.0%
25	5	0.0%
26	4	0.0%
27	5	0.0%
28	3	0.0%
29	2	0.0%
30	1	0.0%
32	1	0.0%

44 Rows 1 Seconds

レポート更新

1. 「大阪府」->「第2因子:緊急度」を「フィルター」へドラッグ&ドロップする。

## ①課題1:レポートの新規作成

## 21).フィルター項目の追加(初診時:転帰、入院時:入院(転帰))

1. 「病院後情報」->「初診時:転帰」を「フィルター」ヘドラッグ&ドロップする。

3. 「フィルター」->「設定」をクリックする。

2. 「病院後情報」->「入院時:入院(転帰)」を「フィルター」ヘドラッグ&ドロップする。

レポート データ グラフ 表示

カラム(列) ● 搬送機関:選定:決... # 合計 # 割合

로우(行)

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	863	1.2%
1	50,165	69.1%
2	11,003	15.1%
3	4,432	6.1%
4	2,635	3.6%
5	1,594	2.1%
6	1,000	1.4%
7	600	0.8%
8	400	0.5%
9	200	0.3%
10	100	0.1%
11	144	0.2%
12	107	0.1%
13	66	0.1%
14	49	0.1%
15	37	0.1%
16	49	0.1%
17	29	0.0%
18	32	0.0%
19	11	0.0%
20	10	0.0%
21	18	0.0%
22	8	0.0%
30	1	0.0%
32	1	0.0%

フィルター

- 発生年
- 発生月(一致条件用)
- 救急隊判断緊急度
- 第2因子:緊急度
- 初診時:転帰
- 入院時:入院(転帰)

分析スタイル

- マルチ表示
- ドリルなし
- ドリルダウン
- ドリルエニウェア
- ドリルスルー

レポートデータ

データビュー

重複し

自動再読み込み:  On

44 Rows 1 Seconds

レポート更新

# ①課題1:レポートの新規作成

## 22).フィルターの設定

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

傷病者情報1

- 消防本部コード【結合キー1】
- 大阪府統一事案番号【結合...
- 事案No
- 傷病者No
- 事故種別
- 搬送区分
- 年齢区分
- 年齢
- 年齢区分(統括表用)
- 年齢(推定)
- 性別
- 居住地
- 家族構成
- 既往歴:呼吸器系
- 既往歴:呼吸:気管支喘息
- 既往歴:呼吸:慢性閉塞性...
- 既往歴:呼吸:その他
- 既往歴:循環器系
- 既往歴:循環:心不全
- 既往歴:循環:虚血性心疾患
- 既往歴:循環:高血圧
- 既往歴:循環:不整脈
- 既往歴:循環:その他
- 既往歴:脳神経系
- 既往歴:脳神:クモ膜下出血

フィルターの設定

And	発生年	等しい(=)	値を定義
And	発生月(一致条件用)	等しい(=)	値を定義
And	救急隊判断緊急度	等しい(=)	値を定義
And	第2因子:緊急度	一覧に含む	値を定義
And	初診時:転帰	等しい(=)	値を定義
And	入院時:入院(転帰)	等しい(=)	値を定義

フィルターロジック

発生年 等しい(=) [ユーザープロンプト]  
 AND 発生月(一致条件用) 等しい(=) [ユーザープロンプト]  
 AND 救急隊判断緊急度 等しい(=) [ユーザープロンプト]  
 AND 第2因子:緊急度 一覧に含む [ユーザープロンプト]  
 AND 初診時:転帰 等しい(=) [ユーザープロンプト]  
 AND 入院時:入院(転帰) 等しい(=) [ユーザープロンプト]

ここにフィルターフィールドをドラッグ

2. 「×」をクリックし、画面を閉じる。

1. 「フィルターの設定」画面で、各フィルター項目のフィルター条件を「等しい(=)」に変更する。

## 23).フィルターのデフォルト値設定(発成年)

1.  (フィルターの書式)アイコンをクリックする。

2. 画面左側の「フィルター」欄から「発成年」を選択し、「入力スタイル」→「デフォルト値」を **2014** に設定する。

# ①課題1:レポートの新規作成

## 24).フィルターのデフォルト値の設定(救急隊判断緊急度)

2. 「×」をクリックし、画面を閉じる

フィルター

一般設定

フィルターの表示とアクション...

フィルター

発生年

発生月(一致条件用)

**救急隊判断緊急度**

第2因子:緊急度

初診時:転帰

入院時:入院(転帰)

フィルターの書式

表示

入力スタイル

値の入力方法  
フィルターの値を手入力します。

手入力

一覧から値を選択

プロンプトを許可  
ユーザーがデータベースに問い合わせることで値の一覧を表示することができます。

On

デフォルト値  
レポートが最初に読み込まれるときに選択されている値を選択します。

高

1. 「救急隊判断緊急度」を選択し、「入力スタイル」→「デフォルト値」に「高」を設定する。

# ①レポート作成手順

- (1) ~~レポートに表示したい項目の設定~~
- (2) ~~各項目の表示設定~~
- (3) ~~フィルター設定~~
- (4) レポートの保存

## 25).レポートの保存

The screenshot shows a web application interface for creating a report. The main area is titled 'レポート設定' (Report Settings). The report name is '連絡回数分布' (Distribution of Contact Frequency). The description is '搬送依頼をかけた最終回数ごとの傷病者数' (Number of injured patients per final request for transport). The department is 'テスト消防本部' (Test Fire Department) and the purpose is '検証用' (Verification Use). The access type is set to '共有' (Shared). At the bottom, there are buttons for '有効化' (Activate), 'ドラフト (編集中)' (Draft (Editing)), and 'キャンセル' (Cancel). A table at the bottom right shows data for 44 rows.

**1. 「レポート」 -> 「保存」をクリックして「レポート設定」画面を表示する。**

**2. レポート名を入力する。  
例:「連絡回数分布\_個人名又は機関名」**

**3. レポートの説明を入力する。**

**4. 「検証用」を選択する。**

**5. 「共有」を選択する。**

**6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。**

## 26).レポート保存の完了

1. 保存が完了すると、レポートが表示される。

3. 「×」をクリックして「レポート一覧」画面に戻る。

2. 「フィルター一覧」の条件を変更することにより、レポートの表示内容が変わることを確認する。

レポート 編集

フィルター一覧

プロンプト

発生年 等しい (=) 2014

発生月(一致条件用) 等しい (=) --省略--

救急隊判断緊急度 等しい (=) 高

第2因子:緊急度一覧に含む

初診時:転帰 等しい (=)

入院時:入院(転帰) 等しい (=)

(サンプル)医療圏ごと連絡回数分布  
圏域ごとの搬送先決定までの連絡回数の分布

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	21	0.4%
1	3,051	65.4%
2	872	18.7%
3	273	5.8%
4	207	4.4%
5	108	2.3%
6	24	0.5%
7	23	0.5%
8	13	0.3%
9	18	0.4%
10	18	0.4%
11	9	0.2%
12	8	0.2%
13	4	0.1%
14	4	0.1%
15	4	0.1%

## ②レポート編集手順

(1) レポートの閲覧

(2) レポートの編集

(3) レポートの保存

### 1).レポートの閲覧

1. 「閲覧」をクリックして  
レポート一覧画面を表示する。



2. 検証用のフォルダをクリックする。

3. 作成したレポートが表示される。  
※レポート名をクリックするとレポートが開く。

## ②レポート編集手順

(1) ~~レポートの閲覧~~

(2) レポートの編集

(3) レポートの保存

### 2).レポートの編集

1. 「編集」->「データ」を選択する。

レポート (サンプル)医療圏ごと連絡回数分布 を編集 しますか？

このレポートを編集すると、修正するための新しいバージョンが作成されます。よろしければOKをクリックしてください。

Ok キャンセル

2. 表示されたダイアログで「OK」をクリックする。

レポート 編集

データ  
グラフ  
表示  
名前と説明

救急隊判断緊急度 等しい (=) 高

第2因子:緊急度一覧に含む

初診時:転帰 等しい (=)

入院時:入院(転帰) 等しい (=)

(サンプル)医療圏ごと連絡回数分布  
圏域ごとの搬送先決定までの連絡回数の分布

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	合計	割合
0	21	0.4%
1	3,051	65.4%
2	872	18.7%
3	273	5.8%
4	207	4.4%
5	108	2.3%
6	24	0.5%
7	23	0.5%
8	13	0.3%
9	18	0.4%
10	18	0.4%
11	9	0.2%
12	8	0.2%

### 3).表示項目の追加

2. 項目にカーソルを乗せると▼が表示されるのでクリックする。

1. 画面左側の「傷病者情報」欄にある「出場情報」->「現場到着から病院到着までの時間」を「カラム(列)」へドラッグ&ドロップする。

2. 項目にカーソルを乗せると▼が表示されるのでクリックする。

3. 開いたサブメニューから「集約」にカーソルを乗せ、さらに展開したメニューから「% 平均」をクリックする。

搬送機関:選定:決定までの時間	現場到着から...	合計	割合	
1	1	14	52	1.1%
1	1	15	50	1.1%
1	1	16	60	1.0%
1	1	22	158	3.4%
1	1	23	159	3.4%
1	1	24	162	3.5%
1	1	25	140	3.0%
1	1	26	151	3.2%
1	1	27	153	3.3%
1	1	28	122	2.6%
1	1	29	122	2.6%
1	1	30	119	2.5%

### 4).項目の表示確認

レポート データ グラフ 表示

傷病者情報

検索

セクション

ここにセクションフィールドをドラッグ

フィルター

- 発生年
- 発生月(一致条件用)
- 救急隊判断緊急度
- 第2因子:緊急度
- 初診時:転帰
- 入院時:入院(転帰)

設定

分析スタイル

- マルチ表示
- ドリルなし
- ドリルダウン
- ドリルエニウェア
- ドリルスルー

レポートデータ

データソース: ORION INPUT ...

ビュー: 傷病者情報

有効なロウ(行)数の制限: 10000

重複レコードを表示:

自動再読み込み:  On

21 Rows 1 Seconds

レポート更新

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	Avg 現場到着から病院到着までの時間	合計	割合
0		21	0.4%
1		26	3,051 65.4%
2		33	872 18.7%
3		40	273 5.8%
4		49	207 4.4%
5		52	108 2.3%
6		59	24 0.5%
7		74	23 0.5%
8		74	13 0.3%
9		75	18 0.4%
10		81	18 0.4%
11		97	9 0.2%
12		66	8 0.2%
13		109	4 0.1%
14		81	4 0.1%
15		101	4 0.1%
16		111	4 0.1%
17		122	2 0.0%
18		97	3 0.1%
24		209	1 0.0%
27		150	1 0.0%

1. 画面右側のキャンバスに追加した項目が表示されるのを確認する。

## ②レポート編集手順

- (1) ~~レポートの閲覧~~
- (2) ~~レポートの編集~~
- (3) レポートの保存

### 5).レポートの保存

1. 「レポート」->「別名で保存」をクリックしてメニューを表示する。

2. レポート名を編集する。  
例:「連絡回数分布2」

3. レポートの説明を編集する。

4. 「検証用」を選択する。

5. 「共有」を選択する。

6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。

期間	合計	割合	
	21	0.4%	
	26	3,051	65.4%
	33	872	18.7%
	40	273	5.8%
	49	207	4.4%
	52	108	2.3%
	75	18	0.4%
	81	18	0.4%
	97	9	0.2%
	66	8	0.2%
	109	4	0.1%
	81	4	0.1%
	101	4	0.1%
	111	4	0.1%
	122	2	0.0%
	97	3	0.1%

### 6).レポートの保存完了

1. 保存が完了すると、レポートが表示される。

3. 「×」をクリックして  
レポート一覧画面に戻る。

2. 「フィルター一覧」の条件を変更することにより、  
レポートの表示内容が変わることを確認する。

レポート 編集

フィルター一覧

発生年 等しい(=)	2014	プロンプト
発生月(一致条件用) 等しい(=)	--省略--	
救急隊判断緊急度 等しい(=)	高	
第2因子:緊急度一覧に含む	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
初診時:転帰 等しい(=)	<input type="text"/>	
入院時:入院(転帰) 等しい(=)	<input type="text"/>	

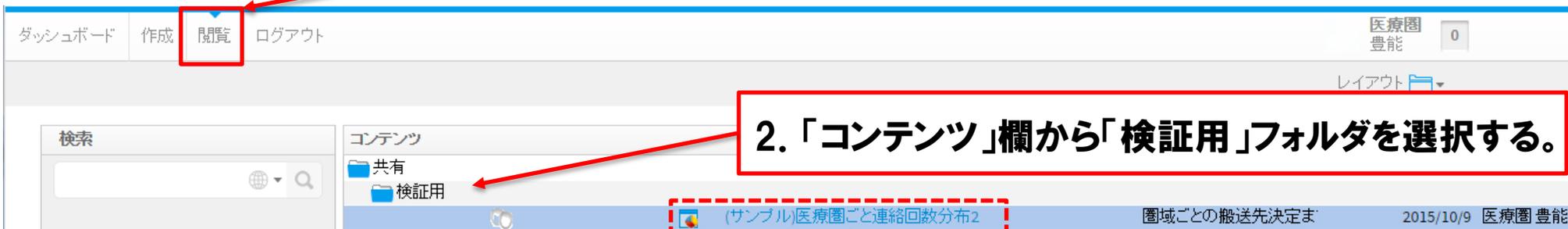
アイテム追加

(サンプル)医療圏ごと連絡回数分布2  
圏域ごとの搬送先決定までの連絡回数の分布(改良版)

搬送機関:選定:決定までの連絡回数	Avg	現場到着から病院到	
0			
1			
2	33	872	18.7%
3	40	273	5.8%
4	49	207	4.4%
5	52	108	2.3%
6	59	24	0.5%
7	74	23	0.5%
8	74	13	0.3%
9	75	18	0.4%
10	81	18	0.4%
11	97	9	0.2%
12	66	8	0.2%

#### 1).レポートの閲覧

1. 「閲覧」をクリックして  
レポート一覧画面を表示する。



2. 「コンテンツ」欄から「検証用」フォルダを選択する。

3. 作成したレポートをクリックして、レポートを表示する。

## 2).Excelエクスポート

1. 「エクスポート」アイコンをクリックして、「レポートエクスポート」画面を表示する。

レポート エクスポート

レポートエクスポート

- CSVにエクスポート
- TXTにエクスポート
- Excelにエクスポート
- 印刷

Export Settings

XLS

Keep Formatting  On

Apply defined formatting to values before export, resulting in numeric values being exported as text if they include prefixes, suffixes, or thousand separators.

エクスポート

2. 「Excelにエクスポート」をクリックする。

3. 「エクスポート」をクリックする。

2	33	872	18.7%
3	40	273	5.8%
4	49	207	4.4%
5	52	108	2.3%
6	59	24	0.5%
7	74	23	0.5%
8	74	13	0.3%
9	75	18	0.4%
10	81	18	0.4%
11	97	9	0.2%
12	66	8	0.2%

## 3).Excelファイルの確認

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with a spreadsheet titled "(サンプル)医療圏ごと連絡回数分布2 - 2015 Oct 13.xls". A red callout box highlights the instruction: "1. Excelファイルとしてダウンロードされたファイルを開き、内容を確認する。". The spreadsheet data is as follows:

搬送機関：選定：決定までの連絡回数	Avg 現場到着から病院到着までの時間	合計	割合
0		21	0.4%
1		26	3,051 65.4%
2		33	872 18.7%
3		40	273 5.8%
4		49	207 4.4%
5		52	108 2.3%
6		59	24 0.5%
7		74	23 0.5%
8		74	13 0.3%
9		75	18 0.4%
10		81	18 0.4%
11		97	9 0.2%
12		66	8 0.2%
13		109	4 0.1%
14		81	4 0.1%
15		101	4 0.1%
16		111	4 0.1%
17		122	2 0.0%
18		97	3 0.1%
24		209	1 0.0%
27		150	1 0.0%

## 1).レポートの編集

1. 「編集」->「グラフ」を選択する。

レポート (サンプル)医療圏ごと連絡回数分布2 を編集しますか？

このレポートを編集すると、修正するための新しいバージョンが作成されます。よろしければOKをクリックしてください。

Ok キャンセル

2. 表示されたダイアログで「OK」をクリックする。

搬送機関: 選定: 決定までの連絡回数	Avg 現場到着から病院到着ま		
0			
1	26	3,051	65.4%
2	33	872	18.7%
3	40	273	5.8%
4	49	207	4.4%
5	52	108	2.3%
6	59	24	0.5%
7	74	23	0.5%
8	74	13	0.3%
9	75	18	0.4%
10	81	18	0.4%
11	97	9	0.2%
12	66	8	0.2%

## 2).グラフの縦軸と横軸に表示する項目の選択

レポート データ グラフ 表示

レポートフィールド

検索

ディメンション(次元)

メトリック(数値)

搬送機関: 選定: 決定までの連絡...

Avg 現場到着から病院到着まで...

合計

割合

おまかせグラフ

横軸

搬送機関: 選定: 決定までの連絡...

縦軸

割合

色

1. 「メトリック(数値)」->「搬送機関: 選定: 決定までの連絡回数」を「横軸」へドラッグ&ドロップする。

2. 「メトリック(数値)」->「割合」を「縦軸」へドラッグ&ドロップする。

67.5  
65  
62.5  
60  
57.5  
55  
52.5  
50  
47.5  
45  
42.5  
40  
37.5  
35  
32.5  
30  
27.5  
25  
22.5  
20  
17.5  
15  
12.5  
10  
7.5  
5  
2.5  
0

0 2.5 5 7.5 10 12.5 15 17.5 20 22.5 25 27.5

● 搬送機関: 選定: 決定までの連絡回数/割合

このデータセットから他のグラフを追加するには、+をクリックしてください

+

## ④課題4:グラフの作成

### 3).グラフの種類を選択

1. 画面右側の「グラフの選択」アイコンをクリックする。

画面左側のレポートフィールドには、検索、次元、メトリックが設定されています。メトリックとして「割合」が選択されています。

画面中央には、縦棒グラフが表示されています。Y軸は0から67.5まで、X軸は0から12まで表示されています。最も高い棒はX=1で、値は約65.5です。

画面右側の「グラフの選択」メニューには、分析、エリアグラフ、棒グラフ、カラム(列)の各カテゴリがあります。カラム(列)の下には、縦棒グラフのアイコンが選択されています。

画面下部には「比例棒グラフ」の説明が表示されています：異なるカテゴリーの値がそのカテゴリー内での最大値にどれだけ近いかを表します。

2. 「グラフの選択」->「カラム(列)」->「縦棒グラフ」を選択する。

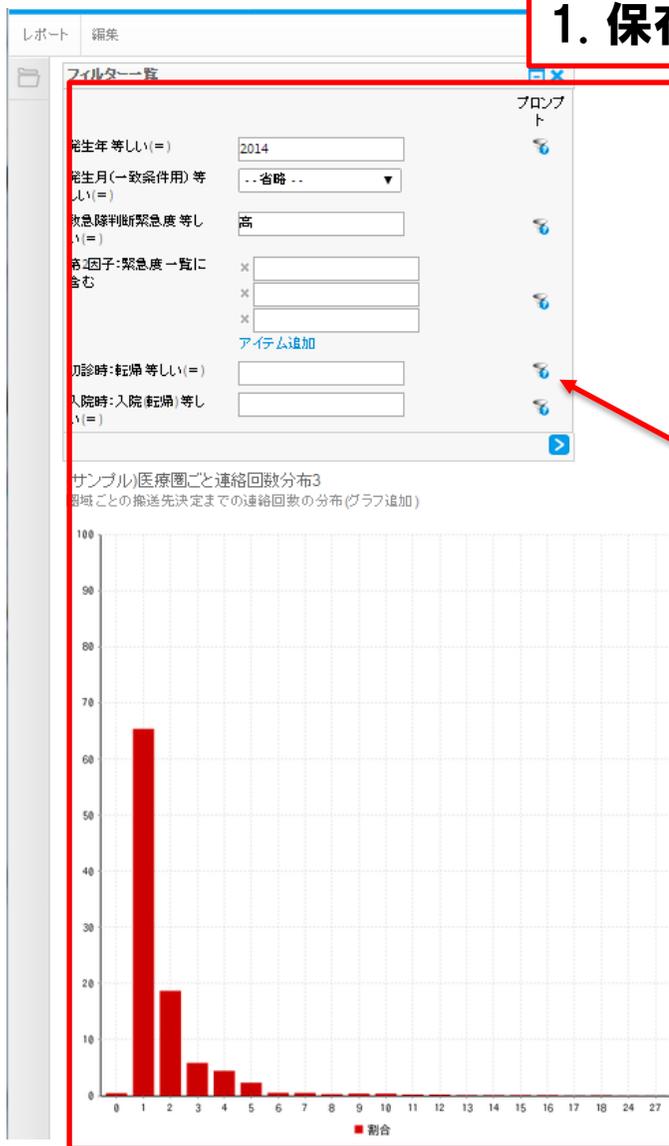


## 5).レポートの保存

The screenshot shows a software interface for saving a report. A sidebar on the left contains a 'レポート' (Report) menu and a '保存' (Save) dropdown with options like '別名で保存' (Save with name). The main area is titled 'レポート設定' (Report Settings) and contains a warning message, a text input field for the report name, a description field, '共有' (Share) and '検証用' (Verification) dropdowns, a '共有' radio button, and '有効化' (Activate) buttons. A 'グラフの選択' (Select Graph) panel is visible on the right.

1. 「レポート」->「別名で保存」をクリックしてメニューを表示する。
2. レポート名を編集する。  
例:「連絡回数分布3\_個人名又は機関名」
3. レポートの説明を編集する。
4. 「検証用」を選択する。
5. 「共有」を選択する。
6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。

## 6).レポートの保存完了



1. 保存が完了すると、グラフが表示される。

3. 「×」をクリックしてレポート一覧画面に戻る。

2. 「フィルター一覧」の条件を変更することにより、レポートの表示内容が変わることを確認する。

## 1).レポートの閲覧

1. 「閲覧」をクリックして  
レポート一覧画面を表示する。



2. 検証用のフォルダをクリックする。

3. 作成したレポートが表示される。  
※レポート名をクリックするとレポートが開く。

## 2).レポートの削除

1. 「レポート」->「削除」をクリックする。

2. 「YES」をクリックする。

このレポートを削除: 実行しますか?

搬送機関: 選定: 決定までの連絡回数	Avg	現場到着から病院到着までの時間	合計
0	21	0.4%	
1	26	3,051	65.4%
2	33	872	18.7%
3	40	273	5.8%
4	49	207	4.4%
5	52	108	2.3%
6	59	24	0.5%
7	74	23	0.5%
8	74	13	0.3%
9	75	18	0.4%
10	81	18	0.4%
11	97	9	0.2%
12	66	8	0.2%
13	109	4	0.1%
14	81	4	0.1%
15	101	4	0.1%
16	111	4	0.1%
17	122	2	0.0%
18	97	3	0.1%
24	209	1	0.0%
27	150	1	0.0%

## 7. 体験学習1(単表)



休憩タイム

ORION

Username:

&lt;Type your User Id&gt;

Password:

ログイン &gt;

### <カリキュラムの目的>

一覧表より気になる数値をドリルスルーし事案情報（詳細）へ遷移させ仮説結果を検証してみましょう。

- ・搬送連絡結果情報より、「理由分析レポート 明細」を作成する。
- ・フィルタに、最終連絡回数、搬送連絡結果、第2因子、輪番を追加する。
- ・「理由分析レポート 明細」より既存にある「事案詳細レポート」をドリルスルー機能【表移動】を利用し遷移させるように設定する。
- ・「理由分析レポート 明細」のフィルタ機能【絞込み】を利用し、対象の事案情報を閲覧し分析する。  
例1) 年齢区分 = 高齢者 and 最終連絡回数 > 8 で分析。(困った高齢者の受入確認)  
例2) 輪番 = 当番 and 連絡回数 = 1 で分析。(輪番機能確認)  
例3) 救急隊判断緊急性 = 高 and 最終連絡回数 > 8 で分析。(緊急度高未受入確認)  
例4) 救急隊判断緊急性 = 高 and 搬送連絡結果 = 搬送可 and 最終連絡回数 < 2  
で分析。(緊急性高での最終受入...それぞれ母数を用意し上下評価)  
例5) 救急隊判断緊急性 = 低 and 搬送連絡結果 = 搬送可 and 最終連絡回数 > 8  
で分析。(緊急性低での最終受入...それぞれ母数を用意し上下評価)

## 1) 帳票レイアウト仕様書

フィルター一覧 ☐ ×

プロンプト

消防本部名等しい(=)

救急隊名等しい(=)

医療機関名等しい(=)

年齢区分一覧に含む

×

×

×

アイテム追加

発生年月日の間(~)

2015 / 01 / 01 And 2015 / 01 / 01

連絡回数の間(~)

最終連絡回数の間(~)

搬送連絡結果等しい(=)

-- 省略 --

第2補足因子:緊急度一覧に含む

×

×

×

アイテム追加

搬送先医療機関輪番等しい(=)

▶

【デモ用】理由分析レポート 明細  
搬送依頼結果の明細

1 - 100 / 1776

連絡日時	医療機関名	救急隊名	連絡回数	最終連絡回数	搬送連絡結果	コメント	事故種別	性別	年齢区分	第2補足因子:緊急度	救急隊判断緊急度	診療医重症度判断	検索種別	輪番	府統一事案番号
2014/12/31 11:59 PM	府立中河内救命救急センター	長堂救急隊	1	1	搬送可		転院搬送	男	高齢者		中	中等症	3次検索でみつかった		14271500110201412310015
2015/01/01 12:24 AM	みどりヶ丘病院	高槻北救急隊	1	1	搬送可		急病	男	成年		中	軽症			14270700070201501010002
2015/01/01 12:27 AM	みどりヶ丘病院	高槻西救急隊	1	1	搬送可		急病	女	成年		中	軽症	応需検索でみつかった		14270700080201501010002
2015/01/01 12:28 AM	堺市泉北急病診療センター	百舌島第2救急隊	1	1	搬送可		急病	男	乳幼児 黄以下		中	軽症	その他		14272600160201501010003
2015/01/01 12:30 AM	若草第一病院	中救急隊	1	1	搬送可		急病	男	成年		中	中等症	応需検索でみつかった		14271500050201501010011
2015/01/01 12:34 AM	泉大津市立病院	阪南第1救急隊	1	1	搬送可		急病	男	乳幼児		中	軽症	応需検索でみつかった		14273600120201501010004
2015/01/01 12:34 AM	ヘルランド総合病院	福泉救急隊	1	1	搬送可		急病	女	高齢者		中	軽症	応需検索でみつかった		14272600180201501010003
2015/01/01 12:35 AM	富田林病院	本署救急隊	1	1	搬送可		急病	男	乳幼児		中	軽症	応需検索でみつかった		14271900010201501010005
2015/01/01 12:38 AM	葛城病院	予備1	1	1	搬送可		急病	女	成年 黄以下		中	中等症	応需検索でみつかった		14273200050201501010005
2015/01/01 12:45 AM	岸和田市民病院	本署救急隊	1	1	搬送可		急病	女	成年 黄以下		中	軽症	応需検索でみつかった		14273200010201501010008
2015/01/01 12:53 AM	近畿大学医学部附属病院	茶山台救急隊	1	1	搬送可		急病	女	高齢者		中	軽症	応需検索でみつかった		14272600080201501010005
2015/01/01 1:00 AM	城山病院	本署救急隊	1	2	手術中・患者対応中		急病	女	高齢者		中	中等症	応需検索でみつかった		14271600010201501010002
2015/01/01 1:03 AM	大阪労災病院	登美丘救急隊	1	1	搬送可		急病	女	高齢者 黄以下		中	中等症	応需検索でみつかった		14272600100201501010005
2015/01/01	市立堺病院	堺救急隊	1	1	搬送可		急病	男	高齢者 黄以下		中	中等症	応需検索で		14272600070201501010005

事案詳細レポートへ画面遷移する(課題8)

## 1) 帳票レイアウト仕様書

【デモ用】理由分析レポート 明細 > 【デモ用】事案詳細レポート

フィルター一覧

大阪府統一事案番号【結合キー-2】等しい(=)

プロンプト

一覧より大阪府統一事案番号を事案詳細レポートのフィルタへ連結されることにより遷移する

【デモ用】事案詳細レポート

選択された事案の詳細を表示します

大阪府統一事案番号	14271500110201412310015
消防本部名	東大阪市消防局
救急隊名	長堂救急隊
発生日	2015/01/01
発生曜日	木曜日
土日祝日	平日
年齢	68
性別	男
事案No	427011A1000401
事故種別	転院搬送
時間 入電	2015/01/01 12:18 AM
時間 現場到着	2015/01/01 12:23 AM
時間 現場出発	2015/01/01 12:34 AM

【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果

スマートフォンで行った医療機関へ搬送依頼の履歴

※ORIONスマホアプリを利用せず、大阪府タブへも連絡結果を入力していない場合は表示されません。

連絡回数	連絡日時	搬送連絡結果	医療機関名	搬送先医療機関輪番
1	2014/12/31 11:59 PM	搬送可	府立中河内救命救急センター	

傷病者情報より作成したレポートと搬送連絡結果情報より作成したレポートを同時に表示する(課題7)

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

### 1) ベースとなるレポートをコピーします

ダッシュボード 作成 閲覧 ログアウト

検索

削除 編集

**【デモ用】理由分析レポート 明細**  
搬送依頼結果の明細

メタデータの編集

修正あり: 2015-10-09 5:28:26 PM  
修正者: システム管理者 YF

Table and Chart  
ドラッグ&ドロップで作成  
有効  
共有レポート  
高速(1秒以下)  
ダッシュボードへの利用  
このレポートはリンクされています

関連レポート:  
【デモ用】事案詳細レポート

お気に入り追加

**コピー**

コンテンツ

名前	説明	最終変更	最終変更者
テスト/消防本部			
共有			
検証用			
月次レポート			
年次レポート			
ORION標準			
消防用			
保健所用			
懇話会資料			
体験学習用			
【デモ用】事案詳細レポート	選択された事案の詳細を:	2015/10/9	システム管理者 YF
【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果	スマートフォンで行った医:	2015/10/9	システム管理者 YF
【デモ用】理由分析レポート 明細	搬送依頼結果の明細	2015/10/9	システム管理者 YF
ダッシュボード			

**共有 > 体験学習用 より  
「【デモ用】理由分析レポート 明細」を選択し、コピーする**

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

### 2) 表示項目を追加します。

1. 「傷病者情報1」->「大阪府統一事案番号【結合キー】」を「カラム(列)」へドラッグ&ドロップする。

連絡日時	医療機関名	救急隊名	連絡区	第2補足因子:緊急度	救急隊判断:緊急度	初診医重症度判断	検索種別名	輪番	大阪府統一事案番号【結合キー】
11:59 PM	急センター	隊	可	搬送	者	中	3次検索でみつかった		14271500110201412310015
2015/01/01 12:24 AM	みどりヶ丘病院	高槻北救急隊	1	1 搬送可	急病 男 成年	中	軽症		14270700070201501010002
2015/01/01 12:27 AM	みどりヶ丘病院	高槻西救急隊	1	1 搬送可	急病 女 成年	中	軽症	応需検索でみつかった	14270700080201501010002
2015/01/01 12:28 AM	堺市泉北急病診療	百舌鳥第2救	1	1 搬送可	急病 男 乳幼児 黄以下	中	軽症	その他	14272600160201501010003

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

1. 「カラム(列)の書式」アイコンをクリックして、「カラム(列)の書式」画面を表示する。

2. 「大阪府統一事案番号【結合キー】」をクリックする。

4. 「×」をクリックして「条件付き書式」画面を閉じる。

3. 「表示」欄に「**府統一事案番号**」と入力する。

大阪府統一事案番号【結...

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

3) 最終連絡回数が5回以上のセルに背景色をつけます。

**【補足】**  
条件付き書式アイコンをクリックし、対象項目を選択しても同じ画面になります

1. 対象項目の右の▼をクリックする

2. 展開したメニューより、「条件付き書式」をクリック

連絡日時	医療機関名	救急隊名	連絡回数	最終連絡回数	搬送連絡結果	第2救急	初診	連絡回
2014/12/31 11:59 PM	府立中河内救命救急センター	長堂救急隊	1	1	搬送可	中	中等症	3次検索でみつかった
2015/01/01 12:24 AM	みどりヶ丘病院	高槻北救急隊	1	1	搬送可	中	軽症	
2015/01/01 12:27 AM	みどりヶ丘病院	高槻西救急隊	1	1	搬送可	中	軽症	
2015/01/01 12:28 AM	堺市泉北急病診療センター	百舌鳥第2救急隊	1	1	搬送可	中	軽症	その他
2015/01/01 12:30 AM	若草第一病院	中救急隊	1	1	搬送可	中	中等症	応需検索でみつかった
2015/01/01 12:34 AM	泉大津市立病院	阪南第1救急隊	1	1	搬送可	中	軽症	応需検索でみつかった
2015/01/01	ベルラン	福泉			搬送			応需検索でみ

1776 Rows 0 Seconds レポート更新

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

レポート データ グラフ 関連レポート 表示

搬送連絡結果情報 レポートフィールド

検索

傷病者情報1  
傷病者情報6  
出場情報  
大阪府  
病院後情報

一般設定

条件付き書式オプション

コラム(列)

連絡日時  
医療機関名  
救急隊名  
連絡回数  
最終連絡回数  
搬送連絡結果  
コメント  
事故種別  
性別

初診医重症度判断  
検索種別名  
輪番  
府統一事案番号

条件付き書式 - 最終連絡回数

設定

アラートタイプ  
コラム(列)の値に基づいて、セットした値もしくは別のコラム(列)と比較します。

スタイル  
一致するセルの背景色が強調表示されます。

タイプ  
各セルの値を各アラートで指定されたカラ

基本  高度

セル

1. 演算子「以上(≥)」を選択し、右の入力欄に「10」と入力

2. 背景色を指定する

3. 同様に「5以上」で少し薄い色を設定する

4. 「×」をクリックして「条件付き書式」画面を閉じる。

クリア

Cancel Submit

## ⑥課題6:一緒に一覧を作成しましょう。

4) 保存します。

The screenshot shows a web application interface for creating a report. The interface includes a top navigation bar with 'レポート' (Reports) highlighted. Below it is a 'レポート設定' (Report Settings) section with several input fields and dropdown menus. A table of report data is visible in the background.

1. レポート > 保存 をクリックしてメニューを表示する
2. レポート名を入力する  
ファイル名の最後に「\_個人名又は機関名」を追加する。
3. レポートの説明を入力する
4. 「検証用」を選択する。
5. 「共有」を選択する。
6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。

# ⑦課題7:一緒に明細を作成しましょう。

## 1) ベースとなるレポートを2つコピーします

ダッシュボード 作成 閲覧 ログアウト

検索

削除 編集

**【デモ用】事案詳細レポート**  
選択された事案の詳細を表示します  
メタデータの編集

修正あり: 2015-10-09 5:23:32 PM  
修正者: システム管理者 YF

- Table and Chart
- ドラッグ&ドロップで作成
- 有効
- 共有レポート
- 高速(1秒以下)
- ダッシュボードへの利用
- このレポートはリンクされています

関連レポート:  
【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果

★ お気に入りに追加  
コピー

コンテンツ

名前	説明	最終変更	最終変更者
テスト/消防本部			
共有			
検証用			
月次レポート			
年次レポート			
ORION標準			
消防用			
保健所用			
懇話会資料			
体験学習用			
【デモ用】事案詳細レポート	選択された事案の詳細を:	2015/10/9	システム管理者 YF
【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果	スマートフォンで行った医:	2015/10/9	システム管理者 YF
【デモ用】理由分析レポート 明細	搬送依頼結果の明細	2015/10/9	システム管理者 YF
ダッシュボード			

**共有>体験学習用 より「【デモ用】事案詳細レポート」を選択し、自圏域>検証用にコピーする**

**同様に、共有>体験学習用 より「【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果」を選択し、自圏域>検証用にコピーする**

**【補足】**  
後でこのレポート名で検索しますので、日付や名前をつけて、検索しやすいレポート名で保存してください。

## 2) マルチレポートで同時に表示させる設定をします

1. 「【デモ用】事案詳細レポート」の編集画面を開く

2. 分析スタイルの「マルチ表示」をチェックする

3. 「関連レポート」が増えるので、クリックする

フィルターが指定されていません  
一覧にあるすべてのフィルターを完了させる必要があります。



## ⑦課題7:一緒に明細を作成しましょう。

### 3) レポートを保存します

レポート

1. レポート > 保存 をクリックしてメニューを表示する

レポート設定

【デモ用】事案詳細レポート

選択された事案の詳細を表示します

テスト消防本部

検証用

+タグ追加

レポートアクセス

共有  個人用

カテゴリへのアクセス権を持つすべてのユーザーがこのレポートを表示することができます。

表示

6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。

有効化

ドラフト (編集中)

キャンセル

# ⑧課題8:課題6に課題7をドリルスルー化させましょう。

## 1) ドリルスルーの設定をします

**1. 「【デモ用】理由分析レポート 明細」の編集画面を開く**

**2. 「ドリルスルー」を選択する**

**3. 「関連レポート」が増えるので、クリックする**

連絡日時	医療機関名	救急隊名	連絡回数	最終連絡回数	搬送連絡結果	コメント	事故種別	性別	年齢区分	第2補足因子:緊急度	救急隊判断緊急度	初診医重症度判断	検索種別名	輪番	府統一事案番号
2014/12/31 11:59 PM	府立中河内救命救急センター	長堂救急隊	1	1	搬送可	転院搬送		男	高齢者		中	中等症	3次検索でみつかなかった		14271500110201412310015
2015/01/01 12:27 AM	みどりヶ丘病院	高槻西救急隊	1	1	搬送可		急病	女	成年		中	軽症	応需検索でみつかなかった		14270700080201501010002
2015/01/01 12:28 AM	堺市泉北急病診療センター	百舌鳥第2救急隊	1	1	搬送可		急病	男	乳幼児	黄以下	中	軽症	その他		14272600160201501010003
2015/01/01 12:30 AM	若草第一病院	中救急隊	1	1	搬送可		急病	男	成年		中	中等症	応需検索でみつかなかった		14271500050201501010011
2015/01/01	ベルラン 福泉				搬送		急病	男	乳幼児		中	軽症	応需検索でみつかった		14273600120201501010007

# ⑧課題8:課題6に課題7をドリルスルー化させましょう。

レポート データ グラフ 関連レポート 表示

検索 [デモ用] 事案詳細レポート

高度

マルチ表示(タブ化) [デモ用] 事案詳細レポート

マルチ表示は選択されていません

1. 自圏域>検証用に作成した事案詳細のレポートを、「ドリルスルー」にドラッグ&ドロップする

2. どの値をドリルスルー先レポートのフィルター値に設定するかを選択する

結合  
マスターフィールド: 府統一事案番号  
子フィルター: 大阪府統一事案番号【結合キー2】

オプション  
ハイパーリンクフィールド: 府統一事案番号  
新規ウインドウのポップアップ:

更新 削除

3. どの項目をドリルスルー(リンク化)させるかを選択する

ドリルスルー

【デモ用】事案詳細レポート  
選択された事案の詳細を表示します

マルチ表示は選択されていません

4. 「更新」ボタンをクリック

マルチ表示(下)

マルチ表示は選択されていません

Address Region	Address Country	Sum Invoiced Amount	Sum Invoiced Amount - Tax	Sum Cost of Goods
USA	USA	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Canada	Canada	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Japan	Japan	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Other	Other	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Asia	Asia	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Europe	Europe	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Australia	Australia	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
South America	South America	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Middle East	Middle East	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17
Other	Other	\$1,241,263.00	\$1,065,369.17	\$185,108,269.17

## ⑧課題8:課題6に課題7をドリルスルー化させましょう。

### 2) レポートを保存します

The screenshot shows a web interface for saving a report. At the top, a navigation bar contains 'レポート' (Report), 'データ' (Data), 'グラフ' (Graph), and '関連レポート' (Related Reports). A red box highlights 'レポート' with an arrow pointing to a callout box containing the text '1. レポート > 保存 をクリックしてメニューを表示する'. Below the navigation bar is a 'レポート設定' (Report Settings) section. It includes a title field with the text '【デモ用】理由分析レポート 明細', a scrollable area for '搬送依頼結果の明細', and two dropdown menus for 'テスト消防本部' (set to 'テスト消防本部') and '検証用' (set to '検証用'). There is also a '+タグ追加' (Add Tag) button. Below the settings is a 'レポートアクセス' (Report Access) section with a radio button for '共有' (Shared) and a radio button for '個人用' (Personal). A '表示' (Display) section is at the bottom, containing three buttons: '有効化' (Activate), 'ドラフト (編集)' (Draft (Edit)), and 'キャンセル' (Cancel). A red box highlights the '有効化' button with an arrow pointing to a callout box containing the text '6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。'. The '有効化' button is currently highlighted in blue.

1. レポート > 保存 をクリックしてメニューを表示する

6. 「有効化」をクリックしてレポートを保存する。

# ⑧課題8:課題6に課題7をドリルスルー化させましょう。

【デモ用】理由分析レポート 明細  
搬送依頼結果の明細

1 - 100 / 1776

連絡日時	医療機関名	救急隊名	連絡回数	最終連絡回数	搬送連絡結果	コメント	事故種別	性別	年齢区分	第2補足因子:緊急度	救急隊判断緊急度	初診医重症度判断	検索種別名	輪番	府統一事案番号
2014/12/31 11:59 PM	府立中河内救命救急センター	長堂救急隊	1	1	搬送可		転院搬送	男	高齢者		中	中等症	3次検索でみつかった		14271500110201412310015
2015/01/01 12:24 AM	みどりヶ丘病院	高槻北救急隊	1	1	搬送可		急病	男	成年		中	軽症			14270700070201501010002
															14270700080201501010002

【デモ用】理由分析レポート 明細 > 【デモ用】事案詳細レポート  
▼フィルター値を表示

【デモ用】事案詳細レポート  
選択された事案の詳細を表示します

大阪府統一事案番号	14271500110201412310015
消防本部名	東大阪市消防局
救急隊名	長堂救急隊
発生日	2015/01/01
発生日曜日	木曜日
土日祝日	平日
年齢	68
性別	男
事案No	427011A1000401
事故種別	転院搬送
時間 入電	2015/01/01 12:18 AM
時間 現場到着	2015/01/01 12:23 AM
時間 現場出発	2015/01/01 12:34 AM
時間 病院到着	2015/01/01 12:40 AM
入電から現場到着までの時間	5
入電から現場出発までの時間	16
入電から病院到着までの時間	22
バイタルサイン(JCS)	
バイタルサイン(GCS_E)	

【デモ用】事案詳細レポート 連絡結果

スマートフォンで行った医療機関へ搬送依頼の履歴  
※ORIONスマホアプリを利用せず、大阪府タブへも連絡結果を入力していない場合は表示されません。

連絡回数	連絡日時	搬送連絡結果	医療機関名	搬送先医療機関輪番
1	2014/12/31 11:59 PM	搬送可	府立中河内救命救急センター	

**ドリルスルーの設定ができました**

検索で かった	14273600120201501010007
検索で かった	14272600180201501010003

## 8. 体験学習2(連表)



休憩タイム

ORION

Username:

<Type your User Id>

Password:

ログイン >

### <カリキュラムの目的>

仕様書を見て、自分自身でレポート帳票を作ってみましょう。

※難しい場合は、添付しているレポート帳票をそのまま制作して下さい。

- ・自分自身でレポート帳票を作成する。
- ・仕様書から、自身で仮説を考えレポートを作成してみましょう。

## 1) 帳票レイアウト仕様書

レポート 編集 ↑ ☆

【デモ用】搬送母数の確認 【デモ用】搬送母数の確認(発知時間ごと)

フィルター一覧 ☒ ×

発生年 等しい(=)	<input type="text" value="2014"/>	プロンプト
2次医療圏(消防)	<input type="text" value="泉州"/>	プロンプト
消防本部名一覧に含む	<input type="text" value="x"/> <input type="text" value="x"/> <input type="text" value="x"/>	プロンプト
<a href="#">アイテム追加</a>		
2次医療圏(医療機関)	<input type="text"/>	プロンプト
医療機関名一覧に含む	<input type="text" value="x"/> <input type="text" value="x"/> <input type="text" value="x"/>	プロンプト
<a href="#">アイテム追加</a>		

[▶](#)

帳票5まで作成したら、マルチ表示でタブ化する

【デモ用】搬送母数の確認 (発知時間ごと)

列の項目:  
 出場情報、土日祝(システム)  
 出場情報、発知時間区分  
 行の項目:  
 傷病6、搬送機関:機関コード  
 傷病6、搬送機関:実施形態  
 傷病6、搬送機関:機関名  
 出場情報、消防本部名

傷病者数			土日祝	平日			合計
搬送機関:機関コード	実施形態	機関名	消防本部名	診療時間内	診療時間外	診療時間外	合計
70502879	二次	府立母子医療センター	貝塚市消防本部	0	0	1	0 1
527302002	二次	高石藤井心臓血管病院	泉州南広域消防本部	0	1	0	0 1
			泉州南広域消防本部	61	102	82	159 404
			貝塚市消防本部	0	1	0	0 1
		和歌山日赤	泉州南広域消防本部	1	0	0	0 1
		和歌山日赤病院	泉州南広域消防本部	0	2	3	3 8
			貝塚市消防本部	0	1	1	1 3
	二次	日本赤十字和歌山医療センター	泉州南広域消防本部	0	1	1	1 3
		日本赤十字社 和歌山医療セ	泉州南広域消防本部	0	9	11	9 29
		日本赤十字社和歌山医療センター	泉州南広域消防本部	25	29	32	72 158
		日本赤十字社和歌山医療センター	泉州南広域消防本部	1	0	0	0 1

### 【デモ用】搬送母数の確認

列の項目:  
 出場情報、発生月  
 行の項目:  
 傷病6、搬送機関:機関コード  
 傷病6、搬送機関:実施形態  
 傷病6、搬送機関:機関名  
 出場情報、消防本部名

傷病者数			発生月												合計	
搬送機関:機関コード	実施形態	機関名	消防本部名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
70502879	二次	府立母子医療センター	貝塚市消防本部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
527302002	二次	高石藤井心臓血管病院	泉州南広域消防本部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
			泉州南広域消防本部	0	0	0	0	59	55	50	63	44	33	41	59	404

## 2) 項目仕様書

### a. データベースビュー設定

「傷病者情報」を選択

### b. カラム【列】、ロウ【行】に関する設定

No	列or行	データフィールド	項目名	編集内容
1	列	出場情報	発生月	-
2	列	出場情報	消防本部コード【結合キー1】	個数による集約
3	行	傷病6	搬送機関：機関コード	
4	行	傷病6	搬送機関：実施形態	
5	行	傷病6	搬送機関：機関名	
6	行	出場情報	消防本部名	
7				

## c.フィルターに関する設定

No	データフィールド	項目名	演算子	編集内容	初期値
1	傷病 1	搬送区分	と異なる(≠)	現場処置のみ	
2	出場情報	発生年	等しい(=)	-	2014
3	出場情報	2次医療圏名	等しい(=)	-	白圏域
4	出場情報	消防本部名	一覧に含む	-	
5	病院後情報	2次医療圏名	等しい(=)	-	
6	病院後情報	医療機関名	一覧に含む	-	
7					

## 1) 帳票レイアウト仕様書

レポート 編集
🏠 ☆

フィルター一覧
🗖️ ✕

プロンプト

発生年等しい(=)  🗨️

2次医療圏(消防)  🗨️

消防本部名一覧に含む

×

×

×

[アイテム追加](#)

2次医療圏(医療機関)  🗨️

医療機関名一覧に含む

×

×

×

[アイテム追加](#)

➤

【デモ用】搬送母数の確認 (覚知時間ごと)

- 列の項目:
- 出場情報: 土日祝(システム)
  - 出場情報: 覚知時間区分3
- 行の項目:
- 傷病①: 搬送機関: 機関コード
  - 傷病①: 搬送機関: 実施形態
  - 傷病①: 搬送機関: 機関名
  - 出場情報: 消防本部名

		傷病者数		土日祝		平日			
搬送機関: 機関コード	実施形態	機関名	消防本部名	診療時間内	診療時間外	診療時間内	診療時間外	合計	合計
70502879	二次	府立母子医療センター	貝塚市消防本部	0	0	1	0	1	1
527302002	二次	高石藤井心臓血管病院	泉大津市消防本部	0	1	0	0	1	1
			泉州南広域消防本部	61	102	82	159	404	404
			貝塚市消防本部	0	1	0	0	1	1
		和歌山日赤	泉州南広域消防本部	1	0	0	0	1	1
		和歌山日赤病院	泉州南広域消防本部	0	2	3	3	8	8
			貝塚市消防本部	0	1	1	1	3	3
	二次	日本赤十字和歌山医療センター	泉州南広域消防本部	0	1	1	1	3	3
		日本赤十字社 和歌山医療センター	泉州南広域消防本部	0	0	11	0	11	11

## 2) 項目仕様書

a.データベースビュー設定

「傷病者情報」を選択

b.カラム【列】、ロウ【行】に関する設定

No	列or行	データフィールド	項目名	編集内容
1	列	出場情報	土日祝 (システム)	
2	列	出場情報	覚知時間区分 3 (診療時間内外)	
3	列	出場情報	消防本部コード【結合キー 1】	個数による集約
4	行	傷病 6	搬送機関：機関コード	
5	行	傷病 6	搬送機関：実施形態	
6	行	傷病 6	搬送機関：機関名	
7	行	出場情報	消防本部名	

## c.フィルターに関する設定

No	データフィールド	項目名	演算子	編集内容	初期値
1	傷病 1	搬送区分	と異なる(≠)	現場処置のみ	
2	出場情報	発生年	等しい(=)	-	2014
3	出場情報	2次医療圏名	等しい(=)	-	白圏域
4	出場情報	消防本部名	一覧に含む	-	
5	病院後情報	2次医療圏名	等しい(=)	-	
6	病院後情報	医療機関名	一覧に含む	-	
7					

## 3) 関連レポート設定 (マルチ表示でタブ化)

レポート
データ
グラフ
関連レポート
表示

検索

検索

高度

Sum Invoiced Amount	2005	2006	2007	2008	2009
Atlanta	\$0.00	\$32,863.61	\$46,578.03	\$53,264.60	\$63,622.21
Argentina	\$0.00	\$0.00	\$71,637.09	\$2,347,132.08	\$0.00
Australia	\$0.00	\$19,930.80	\$62,676.45	\$6,916,197.25	\$5,133,288.24
Austria	\$56,678.97	\$346,322.17	\$4,727,366.00	\$1,763,567.09	\$34,236,235.84
Belgium	\$0.00	\$0.00	\$727,251.61	\$52,371.79	\$12,629.00
Brazil and Portuguese	\$0.00	\$0.00	\$70,368.62	\$131,278.98	\$65,762.48
Brazil	\$1,361,621.85	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
Bulgaria	\$111,218.00	\$0.00	\$41,632.14	\$69,371.61	\$60,024.74
Canada	\$4,211,128.30	\$2,879,667.00	\$1,877,812.36	\$19,787,768.36	\$12,121,343.60
China	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
China	\$0.00	\$0.00	\$125,868.81	\$2,368,117.87	\$368,231.95
Colombia	\$0.00	\$0.00	\$20,716.43	\$16,128.09	\$7,528.80
Denmark	\$532,844.32	\$13,365.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
France	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00

事故種別曜日別搬送人員調

Address Region	Address Country	Sum Invoiced Amount	Sum Compensation	Sum Cost of
USA	China	\$2,280,717.00	\$0,000.00	\$793,937.71
	China	\$47,288.00	\$0.00	\$6,616.87
	India	\$31,623.84	\$0.00	\$23,324.21
	Iran	\$12,678.40	\$1,166.88	\$6,666.00
	Japan	\$66,587,044.00	\$55,185.00	\$1,788,388.00
	Other - Pacific	\$9,153,000.00	\$0.00	\$7,939,751.71

マルチ表示 (タブ化)

【デモ用】搬送母数の確認 (覚知時間ごと)

列の項目:

- 出場情報
- 報、土日

Sum Invoiced Amount	2006	2006	2007	2008	2009
Atlanta	\$0.00	\$32,863.61	\$46,578.03	\$53,264.60	\$63,622.21
Argentina	\$0.00	\$0.00	\$71,637.09	\$2,347,132.08	\$0.00
Australia	\$0.00	\$19,930.80	\$62,676.45	\$6,916,197.25	\$5,133,288.24
Austria	\$56,678.97	\$346,322.17	\$4,727,366.00	\$1,763,567.09	\$34,236,235.84
Belgium	\$0.00	\$0.00	\$727,251.61	\$52,371.79	\$12,629.00
Brazil and Portuguese	\$0.00	\$0.00	\$70,368.62	\$131,278.98	\$65,762.48
Brazil	\$1,361,621.85	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
Bulgaria	\$111,218.00	\$0.00	\$41,632.14	\$69,371.61	\$60,024.74
Canada	\$4,211,128.30	\$2,879,667.00	\$1,877,812.36	\$19,787,768.36	\$12,121,343.60
China	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
China	\$0.00	\$0.00	\$125,868.81	\$2,368,117.87	\$368,231.95
Colombia	\$0.00	\$0.00	\$20,716.43	\$16,128.09	\$7,528.80
Denmark	\$532,844.32	\$13,365.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
France	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00

マルチ表示 (上)

ここにマルチ表示に使用するレポートをドラッグして追加してください

【デモ用】搬送母数の確認 (覚知時間ごと)

結合  
親(上位)レポートのユーザープロンプトフィルターは子(下位)レポートにも渡されます。

マスターフィルター	子フィルター
発生年	発生年
2次医療圏名	2次医療圏名
消防本部名	消防本部名
2次医療圏名	2次医療圏名
医療機関名	医療機関名

更新 削除

**マスターレポートと子レポートの  
フィルター項目をあわせることで、  
フィルター条件を引き継ぐ**

Copyright © 2012 NTT DATA Corporation

83

# 帳票仕様書6:「搬送時間からの問題点」を作成しましょう。

## 1) 帳票レイアウト仕様書

フィルター一覧		プロンプト
発生年等しい(=)	<input type="text" value="2014"/>	
発生月の間(~)	--省略-- --省略--	And
発生曜日の間(~)	--省略-- --省略--	And
覚知時間区分1(2H)等しい(=)	<input type="text"/>	
消防本部名一覧に含む	× <input type="text"/> × <input type="text"/> × <input type="text"/> <a href="#">アイテム追加</a>	
搬送機関:機関名一覧に含む	× <input type="text"/> × <input type="text"/> × <input type="text"/> <a href="#">アイテム追加</a>	
初診医重症度判断等しい(=)	--省略--	
入電から現場到着までの時間の間(~)	<input type="text"/> <input type="text"/>	And
搬送理由:吐下血・消化管出血(疑い含む)等しい(=)	<input type="text"/>	
搬送理由:脳血管疾患等しい(=)	<input type="text"/>	
搬送理由:循環器疾患等しい(=)	<input type="text"/>	
搬送理由:四肢外傷等しい(=)	<input type="text"/>	
2次医療圏名等しい(=)	<input type="text" value="泉州"/>	

### 搬送時間からの問題点

※未リンク、または本登録でない場合の病院後情報は集計対象外です。  
また、「未選択」が選ばれた場合は、空白で集計しています。

初診時:診療科目	入電から現場到着までの時間				
	14分以下	15-29分	30-44分	45-59分	60分以上
内科	683	16	0	0	0
呼吸器内科	104	1	0	0	0
循環器内科	173	8	0	0	0
消化器内科	76	0	0	0	0
腎臓内科	3	0	0	0	0
神経内科	15	1	0	0	0
血液内科	5	0	0	0	0
糖代謝内科	8	0	0	0	0
外科	187	6	1	0	0
消化器外科	22	0	0	0	0
脳神経外科	441	19	0	0	0
整形外科	807	28	5	1	0
心臓血管外科	12	0	0	0	0
呼吸器外科	5	1	0	0	0
救急科	3,235	95	1	0	0
救命救急センター	312	8	0	0	0
小児科	324	10	0	0	0
産婦人科	42	2	0	0	1
精神科・心療内科	1	0	0	0	0
眼科	1	0	0	0	0
泌尿器科	33	0	0	0	0
耳鼻科	27	1	0	0	0
形成外科	1	1	0	0	0
皮膚科	3	0	0	0	0
小児外科	1	0	0	0	0
その他	22	0	0	0	0
	3	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>6,546</b>	<b>197</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>1</b>

# 帳票仕様書6:「搬送時間からの問題点」を作成しましょう。

## 2) 項目仕様書

### a. データベースビュー設定

「傷病者情報」を選択

### b. カラム【列】、ロウ【行】に関する設定

No	列or行	データフィールド	項目名	編集内容
1	列	出場情報	入電から現場到着までの時間	グループデータ (※P88参照)
2	列	出場情報	消防本部コード【結合キー1】	個数による集約
3	行	病院後情報	初診時：診療科目	
4				
5				
6				
7				

## c.フィルターに関する設定

No	データフィールド	項目名	演算子	編集内容	初期値
1	傷病 1	搬送区分	と異なる(≠)	現場処置のみ	
2	病院後情報	初診時：診療科目	IS NOT NULL		
3	出場情報	発生年	等しい(=)	-	2014
4	出場情報	発生月	の間 (~)	-	
5	出場情報	発生曜日	の間 (~)	-	
6	出場情報	覚知時間区分 2 (1 H)	等しい(=)	-	
7	出場情報	消防本部名	一覧に含む	-	
8	傷病 6	搬送機関：機関名	一覧に含む	-	
9	傷病 6	初診医重症度判断	等しい(=)	-	

## 帳票仕様書6:「搬送時間からの問題点」を作成しましょう。

No	データフィールド	項目名	演算子	編集内容	初期値
10	出場情報	入電から現場到着までの時間	の間 (~)	-	
11	大阪府	選定理由：吐下血： 消化管出血	等しい(=)	-	
12	大阪府	選定理由：脳血管疾患	等しい(=)	-	
13	大阪府	選定理由：循環器疾患	等しい(=)	-	
14	大阪府	選定理由：四肢外傷	等しい(=)	-	

# 帳票仕様書6:「搬送時間からの問題点」を作成しましょう。

## 3) グループデータ設定

**1. 対象項目の右の▼をクリックする**

**2. 展開したメニューより、「グループデータ」をクリック**

件数	初診時:診	0	1	2	3	4	5	6	7	...
器内科	1	0	0	4	6	7	17	12	1	...
循環器内科	0	0	0	2	12	24	18	30	3	...
消化器内科	0	0	0	1	4	7	12	11	10	10
腎臓内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	0	0	0	0	1	1	4	2	0	3
血液内科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
代謝内科	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
外科	0	1	0	2	8	18	29	30	30	24
消化器外科	0	0	0	0	0	5	1	5	2	3

## 1. 「グループ追加」をクリックする

グループ追加

No groups.

+グループ追加

表示

14分以下

Operator

以下(≦)

14

保存

キャンセル

## 2. 14分以下のグループを作成し、「保存」ボタンをクリックする

グループデータ: 入電から現場到着までの時間

グループ

- × 14分以下
- × 15-29分
- × 30-44分
- × 45-59分
- × 60分以上

+グループ追加

保存

キャンセル

## 4. すべてのグループを作成したら、「保存」ボタンをクリック

現場到着までの時間

15-29分

の間(~)

15

And

29

保存

キャンセル

## 3. 同様に、「15-29分」「30-44分」「45-59分」「60分以上」のグループを作成する



おつかれさまでした